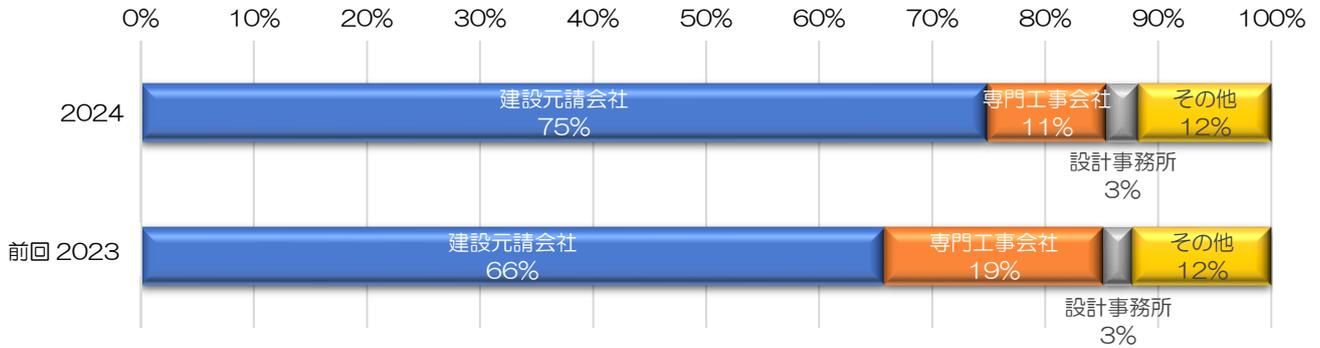


「日建連 BIM セミナー2024」アンケート結果

アンケート回答数：426 回答率：35%

(項目 6,7,8 のみ回答数：121)

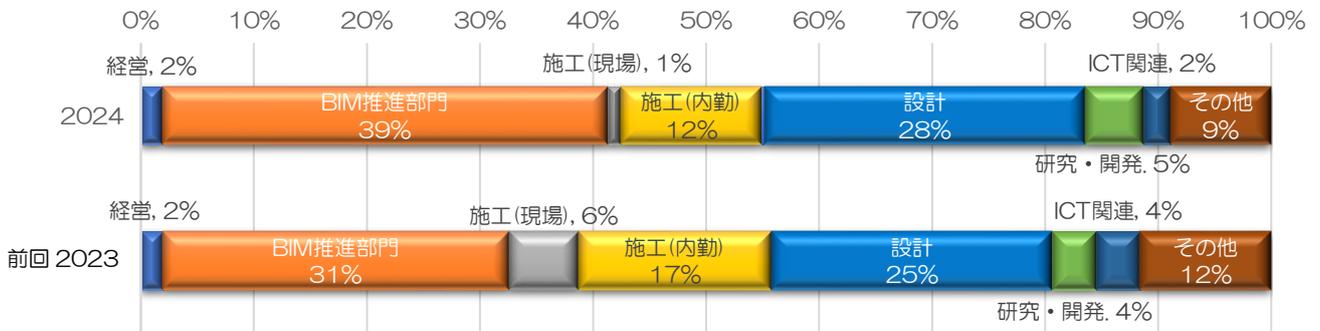
1. 参加者(アンケート提出者)の所属会社について [%]



○2024「その他」の内容

- ・官庁・自治体(1%)、ソフトウェアベンダー(2%)、研究・教育機関(1%)、デベロッパー・コンサル(1%)、その他(7%)

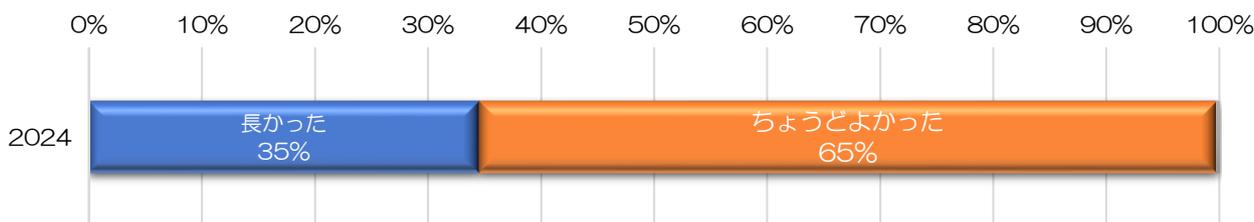
2. 参加者(アンケート提出者)の所属部署について [%]



○2024「その他」の内容

- ・営業(2%)、企画(1%)、建築・事業・工事本部(0%)、積算・見積り(1%)、国際・海外部門(0%)、その他(5%)

3. 講演時間について [%]



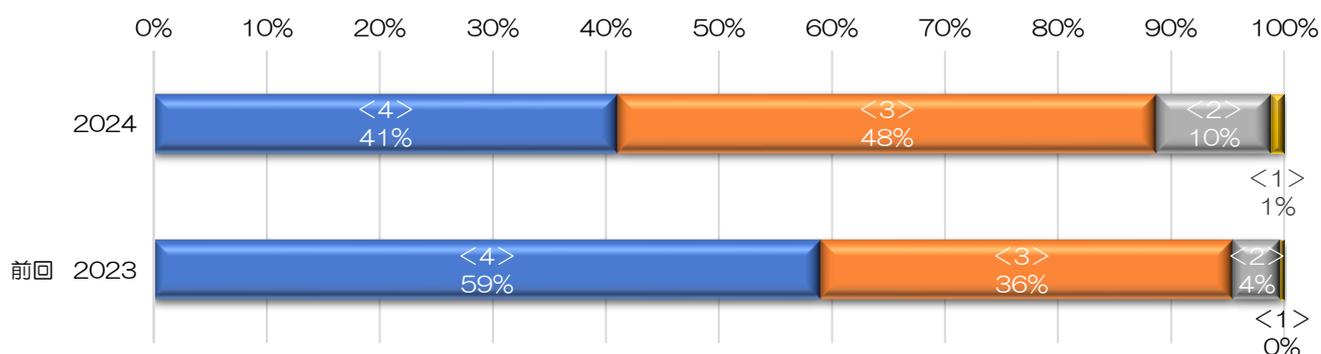
講演時間については、『ちょうどよかった』65%、『長かった』35%となっており、半数以上が講演時間については、概ね好意的との結果となった。

ただし、「後日の配信」を望む意見もあり。

4. セミナーの参考度について [%]

凡例：参考度（4段階評価）

参考になった ← 4 - 3 - 2 - 1 → 参考にならなかった



○セミナーに関する意見・感想について

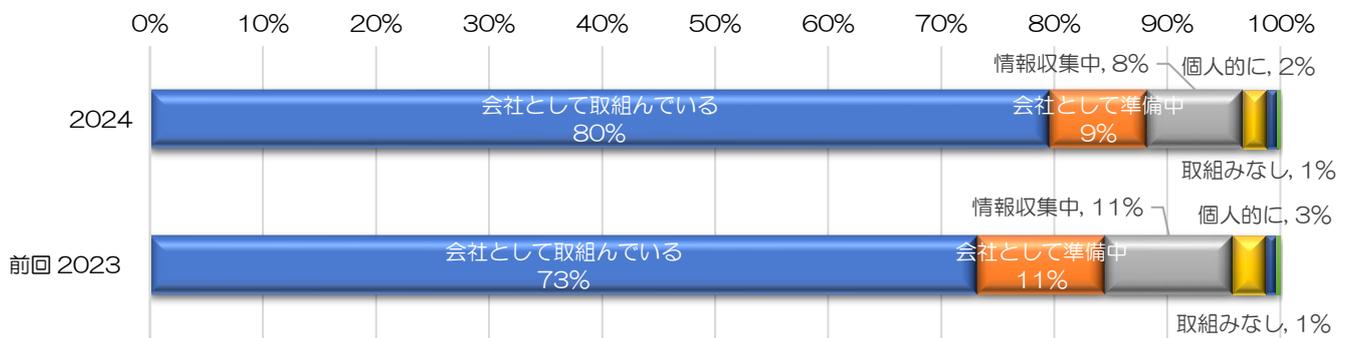
■良かったこと

- ・今年、きれいな話でなく現実の危機感が良かったです。(3件)
- ・設計者と施工者で認識の違いがあることが分かった。(2件)
- ・設計施工連携の良いセミナーでした。
- ・設計と施工とのギャップや、フロントローディングを誤った理解をしている方がいる話など、共感する議題ばかりだった。
- ・フロントローディングの定義を改めて確認でき良い機会となった。
- ・フロントローディングとBIMのあり方が非常に参考になった。
- ・設計と施工側の認識のズレによる設計業務負担が増えているのが気になっていました。モデルを使う目的は何かを設計・施工側の立場で明確にして関係者間で目線合わせすることが大切だと感じました。
- ・BIMの活用率など、現在の建設業界におけるBIMの立ち位置がよくわかりました。
- ・BIMが浸透すれば業務の効率化が図れることは間違いのないと思いますので、今後もこういった情報を発信していくことで少しずつ効果が表れると思います。
- ・現状の課題と方向性が理解できてよかった。取組事例をどんどん拡充して頂きたい。

■改善してほしいこと

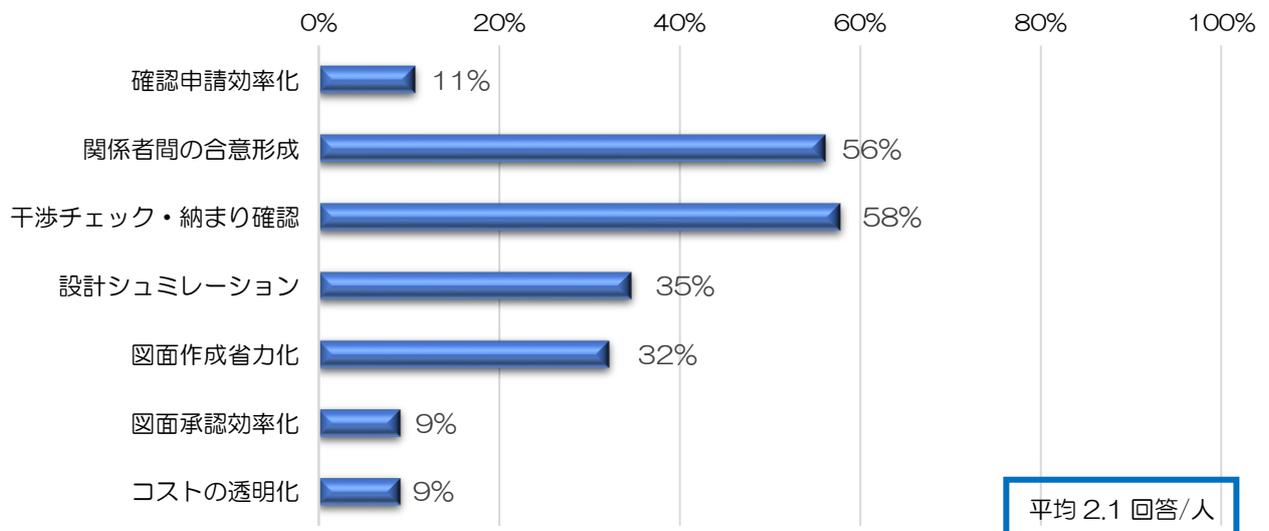
- ・実務での活用事例を挙げて欲しかった。(4件)
- ・今、抱えている課題が解決するための内容にして欲しかった。(3件)
- ・ERIなどの略語や用語の説明が欲しい。全員が理解している訳ではない。(2件)
- ・すべての資料・討議①，②，③の資料もいただきたかった。(2件)
- ・オンデマンド配信をしてほしい。
- ・可能であれば、アーカイブとして資料と共に動画を公開してほしい。
- ・抽象的な表現でぼんやりしているところが幾つかあった。実務に当てはめた話を交えると理解が進むかと思います。

5. BIMの取組みについて

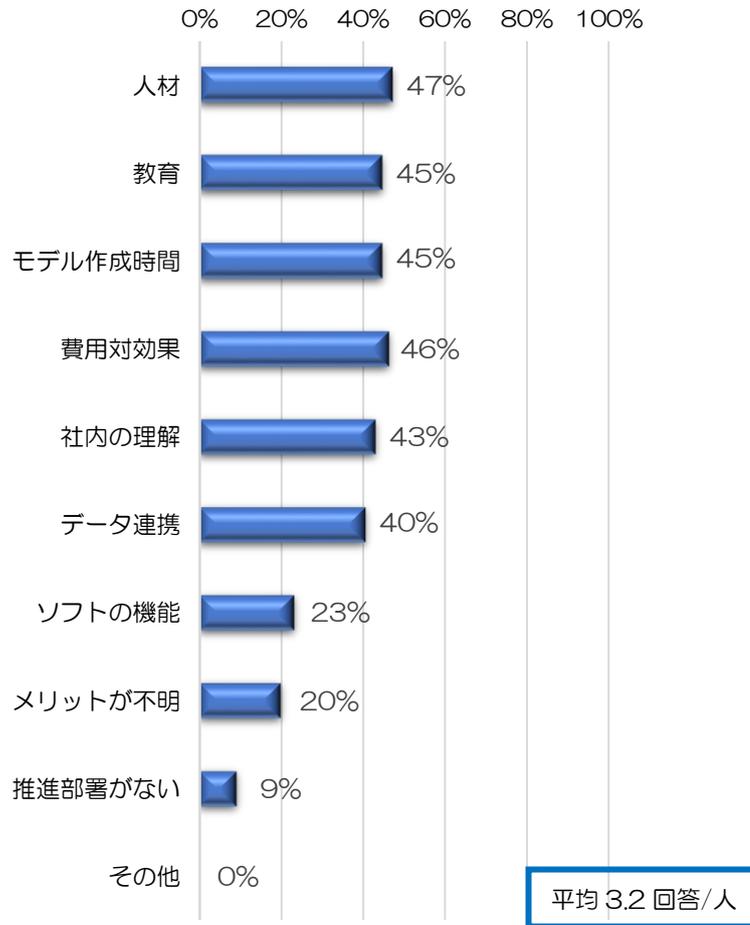


『会社として取り組んでいる』は2022年、2023年の73%から80%と若干増加。
 昨年度の『会社として取り組んでいる』および『情報収集中』から取組む動きに徐々に移行している。

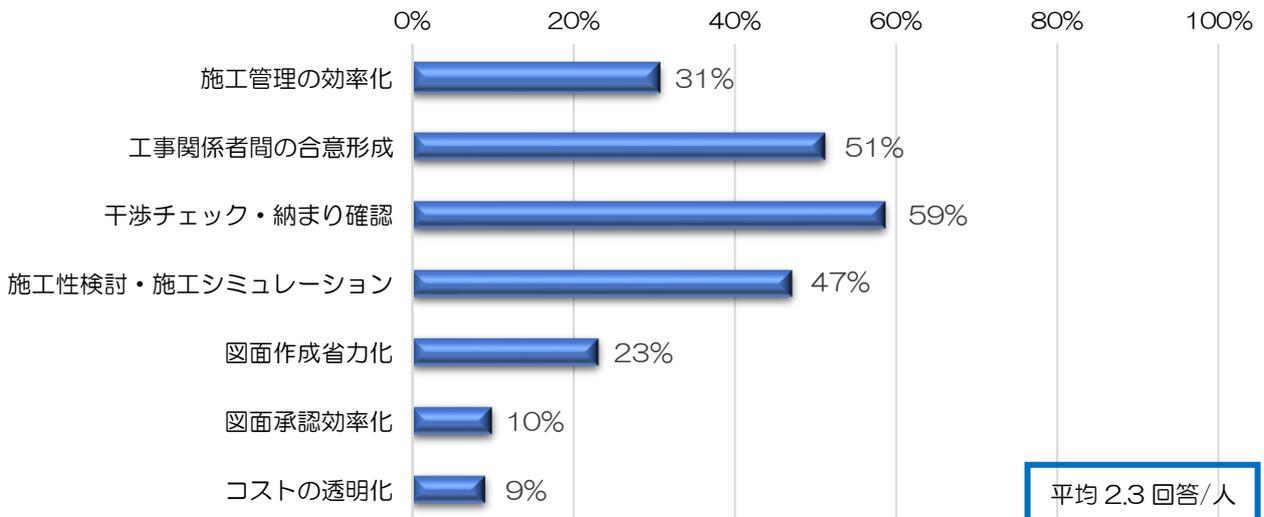
6. 設計BIMの目的(複数回答)_(回答121件)

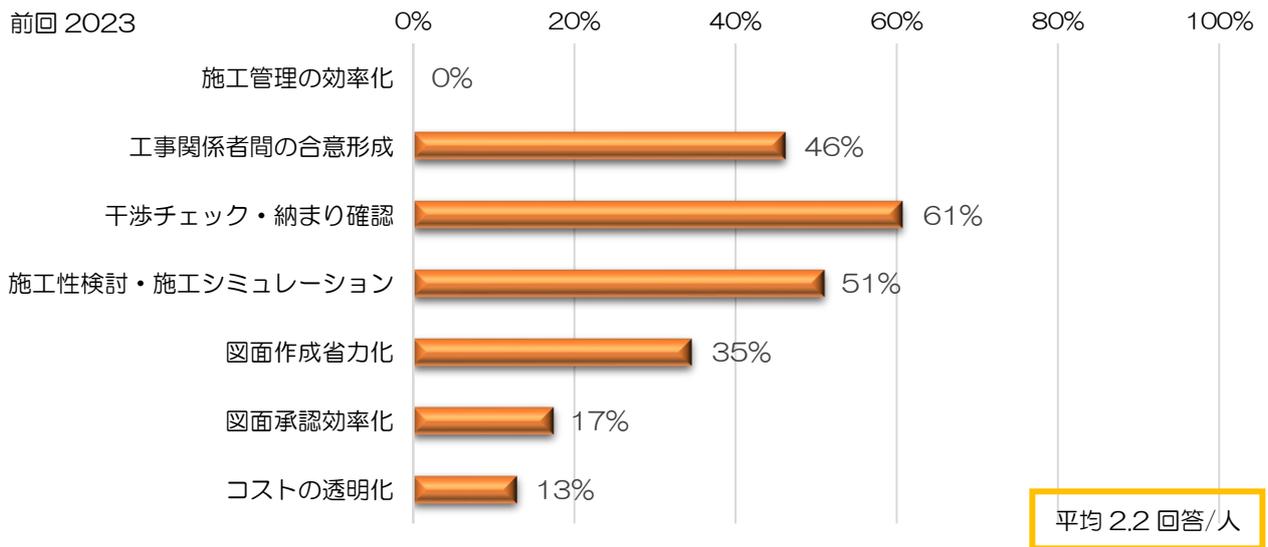


7. 設計 BIM の課題（複数回答）_(回答 121 件)

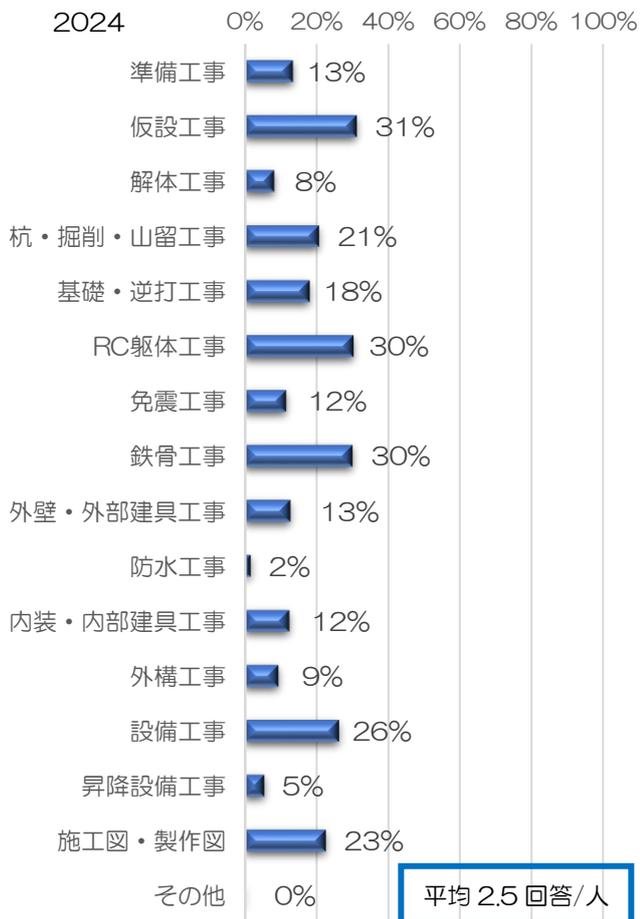


8. 施工 BIM の目的（複数回答）_(回答 121 件)

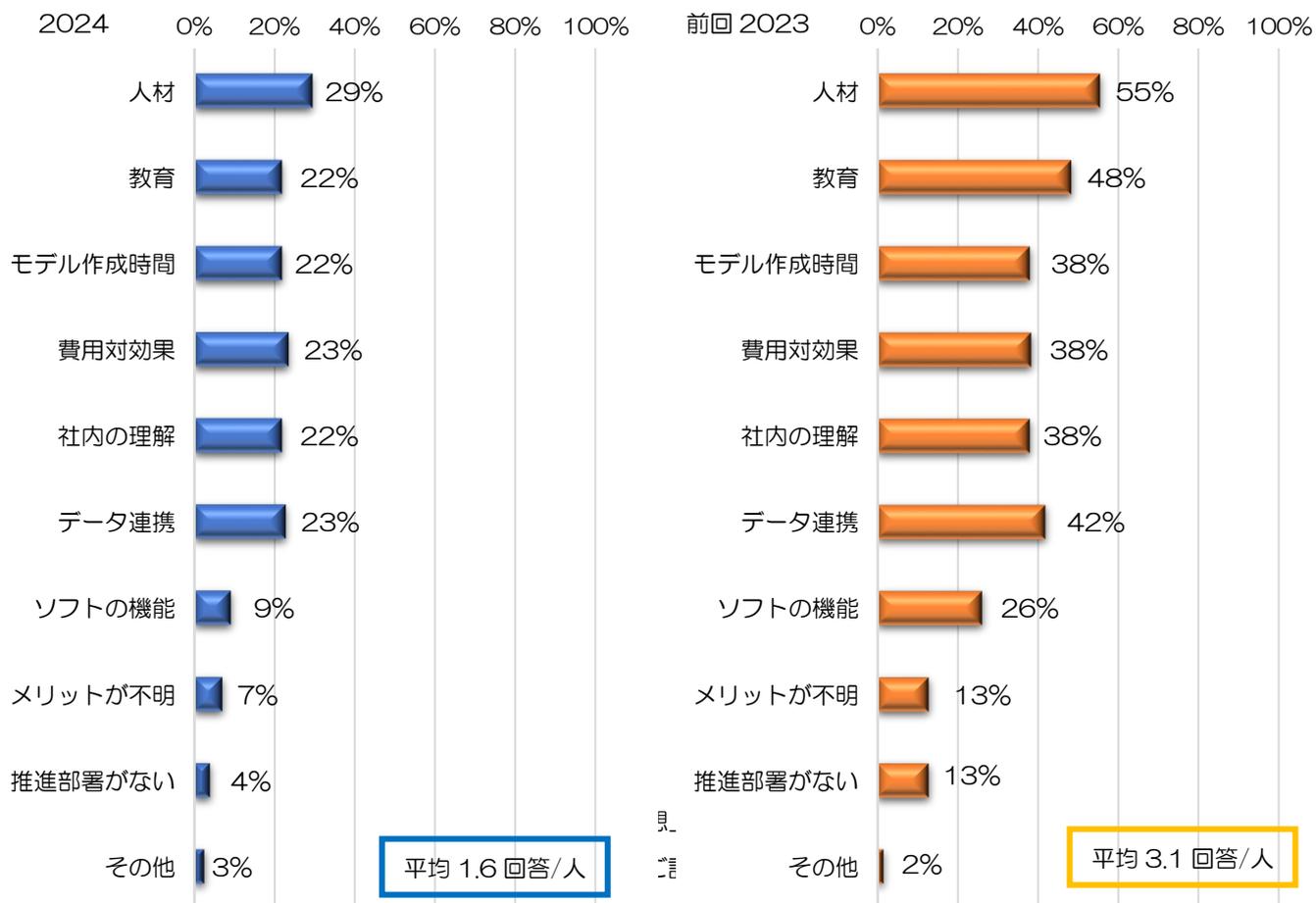




9. 施工 BIM の工種 (複数回答)



10. 施工 BIM の課題（複数回答）



11. 自由意見

○セミナーに関するコメント

【全体】

- ・ 毎年、参加させていただいています。今年は、きれいな話でなく、現実の危機感が良かったです。
- ・ 今年は、正直な危機感が全面に出ていて、興味深い内容だった。
- ・ 他社や他団体のセミナーと比べて、実態に沿った大変参考になるセミナーと感じています。今後もうまくいっていること、していないこと、課題やその解決提案など、情報発信をお願いしたいです。ありがとうございました。
- ・ 設計・施工連携しての BIM 利活用への指向が強くなってきたことに期待しています。事業主の関与は引き続き大きな課題であり、単独企業での取り組みに限界もあるところなので、業界団体としてのイニシアチブを発揮していただけたら、と強く思います。
- ・ 現場のニーズと成功事例の取組内容が一致していないという結果はとても共感できました。現場の方と会話すると痛感します。
- ・ BIM 初心者ですが、セミナーが理解できました。施工 BIM の活用ガイドを拝見したいです。次回の施工活用事例報告を楽しみにしています。
- ・ 実際の事例が多くて参考になります。綺麗ごとだけではなく、実際の課題点を聞くことが出来て毎年、大いに参考になります。
- ・ 竣工後における維持管理 BIM について、深掘して頂けると嬉しいです。
- ・ 初めての参加でありましたが、現在の状況をわかりやすく示していただき、今後とも仕事に活かせそうだと思います。会社単位だけでなく日本全体の BIM レベルが向上するようにこれからもセミナーなどご参加したいなと思いました。
- ・ 大変興味深く本日のセミナーを視聴させていただきました。今後も業界標準の牽引、そして専門工事会社への啓蒙と支援にも一層注力いただければと思います。活動メンバーの皆さまのご尽力に感謝申し上げます。
- ・ 設計・施工がよりタッグを組んで推進して欲しいと思う。設計が作成した設計モデルをそのまま施工モデルとして活用できることが必須。また BIM は各社で独自の進化を遂げつつある。このままでは非常にまずいので、業界のスタンダードを確立して欲しい。
- ・ 全体的な状況が分かり良かったと思います。1社のみでは進められず、ルール化も難しいのでこのようなセミナーを開催頂けると有難いです。
- ・ 日建連としての活動は建設業の指標となるものだと思います。実務者の声を拾っていただき、多くの情報発信を期待しています。
- ・ 日建連としての方針等を各社の足並みを揃えるところまでご尽力いただきたい。各社独自のやり方ということでは、結局裾野が広がらないと思う。業界標準の非競争領域を定めていただき、そこから派生する部分を独自開発する分野として切り分けて欲しいと思います。
- ・ DX・コスト目線で現場活用のあり方で効果があると考える成功事例の発信を継続的にして欲しい。
- ・ 明確な答えの無い中、各社苦勞されていることがわかりました。好事例等があれば、このようなセミナーで展開いただけると幸いです。
- ・ BIM の得意、不得意をわかりやすく提示してはどうかと。矩計や階段詳細図は CAD で書いてるよ、など。パネリストの中でも、全部が全部モデリングする必要はない、と仰っていたが、どこまですれ

ばよいのかわからない方も多いのでは。逆に、これは得意だ！など。基準階だけした、エリアで分けて、など、具体的な話を紹介してくれるとよいと思う。

- ・ 各社社内推進部署でリソースを注ぐ取り組みが独善的にならないように、このような活動の意義が高いと感じました。
- ・ 経営者が BIM に関してどのような考え方を持っているのか気になります。(推進する気持ちがあるのかどうか等)また、BIM に全く関わっていない方がどのようなことを BIM に対しての意見を聞く機会があれば、BIM 推進部署にいる身としては、参考になります。
- ・ 中堅ゼネコン、地方ゼネコンの事例ももっと集めて紹介してほしい。
- ・ 日建連様のこれまでの取り組みやレポートはとても有益な BIM 推進のマニュアル化と思っております。そこですが、そもそもの BIM の活用メリットは少ないかもしれませんが、今後は中小向けにももっとフォーカスしていただくと BIM の裾野が広がると思います、ご検討いただけますと幸いです。
- ・ 各社、人材育成に苦労されていることが分かりました。一方で、今後の入職者の中で「優秀な人材獲得にも BIM が重要になる」との考え方は、社内で共通認識を持つ必要を感じます。
- ・ モデルを作成し、従来見えなかった部分が見えてくることや、モノ決めに効果があることは、かなり浸透していると思います。その先は、維持管理 BIM で触れられたように、連携するシステムへのモデル活用・転用が、今後の課題になってくるのではないかと感じました。
- ・ 原点回帰というテーマには則していたが現状の停滞を打開して BIM 推進する方策を期待していただけに少し心もとない内容だった。
- ・ BIM の積算への活用も検討して欲しい。
- ・ 解決する方法があるかと聞いていましたが、同じ悩みの公開場所でした。
- ・ 話が抽象的で、BIM の複雑性がより伝わってしまったのではないかと感じた。よい事例を紹介するなどして、BIM 活用に活路を見いだせるようなプレゼンだとよかった。ただ、一度 BIM を使わせてみて興味を沸かせるという最も基本的な考え方が最も説得力があるのではないかと感じさせられた内容だった。
- ・ 全ての資料がダウンロードできると良かった。
- ・ 長時間拘束されるのは厳しいのでオンデマンド配信をしていただきたいです。

【設計】

- ・ 今回新しく発行された「設計 BIM モデル作成ガイド」確認させていただきます。現在の日本では、モデルの分類（海外の Uniclass 等に該当するもの）のスタンダードがなく、作成したモデルの有効活用にハードルがあるように感じています。

【施工】

- ・ 鉄骨 BIM 承認について、どの程度の FAB がモデル承認に対応でき、実績があるのかを知りたい。
- ・ 鉄骨 FAB との IFC データ連携の理解を広めてほしい。
- ・ 「施工 BIM の活用ガイド」の事例充実について、ぜひ継続的に行ってほしい。
- ・ 施工 BIM 活用インデックスを元に社内版も作ってみようと思いました。
- ・ BIM は設計が BIM を取り扱っていないと結局のところ費用対効果が得られないのか、少し疑問に思いました。施工 BIM から取り組むことのメリットをもっと知りたいです。

【設備】

- ・ 設備関係の BIM 連携の話があったが、鉄骨取合いより基礎・地中梁検討がとても大切で、時間も限られる。
- ・ 設備工事における BIM の具体的な運用事例の展開（設計、施工、維持管理）
- ・ 当方は 3D で完結していますが、建設側は、T-Fas・・・などの要求で、何も擦り合わせできないのが実情です。

○パネルディスカッションの内容に関連するコメント

【討議①】

- ・ 現状の課題と方向性が理解できて、よかった。取組事例をどんどん、拡充して頂きたいと思います
- ・ 色々な原因があると思いますが、業界への BIM 浸透のスピードがなかなか進んでいないと個人的に思います。わかりやすい、使いやすい BIM に向けて今後ご尽力をお願いします。
- ・ BIM の活用率など、現在の建設業界における BIM の立ち位置がよくわかりました。BIM が浸透すれば業務の効率化が図れることは間違いないと思いますので、今後こういった情報を発信していくことで少しずつ効果が表れると思います。
- ・ セッション中、パネラーの皆様も口にされた部分もありますが、正直なところ BIM 活用が進んでいない状況や阻害要因は 10 年前から余り変わっていない気がします。改善すべき項目も認識されているものの BIM 活用が遅々として進まないのは構造的な問題、あるいは根本的な日本独特の建築業界の商習慣が原因なのかとったりします。

【討議②】

- ・ 設計 BIM モデルに入力していない情報の理解、設計者施工者製作者の所掌といった発信は視聴者のモヤモヤが晴れたと思います。
- ・ 討議②で設計と施工で BIM の認識が異なるというのは、参考になりました。BIM だけの課題ではなく、普段の仕事の進め方にも共通していることだと思います。漠然としていた課題を言葉できちんと表現されていたので勉強になりました。
- ・ 日頃業務をする中で、設計と施工側の認識のズレによる設計業務負担が増えているのが気になっていました。セミナーの内容はまさにその通りで、まずはモデルを使う目的は何か、を設計側・施工側の立場で明確にして関係者間で目線合わせすることが大切だなと感じました。
- ・ 専門工事業者との協業プロセスの前段階の設計プロセスでの共通認識の障害が進まないと、協業や、技術協力プロセスでフロントローディングが進まない感ですが、施工段階のもの決めに最小限にする設計 BIM のあるべきもの決め事項や時期の指針が示されると良いと思います。
- ・ 今回のセミナーでは、設計と施工とのギャップや、フロントローディングを誤った理解をしている方がいる話など共感する議題ばかりでした。そういった内容を今後も日建連さまから発信していただきたいと思います。

【討議③】

- ・ フロントローディングについては、日建連として、設計期間をもっと確保して、施工の着手時までの設計完成度を高める活動もすべきではないでしょうか。
- ・ フロントローディングの定義を改めて確認でき良い機会となった。Revit 中心に動いている実感があがるが、サブコンとしては国産設備 BIM ソフトでもデータ連携が可能な時代が来るのを期待している。
(Revit ワンモデルではなく、オープン BIM に期待)

- ・ 弊社もフロントローディングに取り組始めたばかりなのですが、私は施工者側で参画していますが、意匠・構造・設備設計が、こんなにも整合が（というよりコミュニケーションが）取れていないのに驚いています。「施工上問題にならない程度に整合性を保っている」との話をお聞きし、なるほどと、妙に納得しました。
- ・ フロントローディングと BIM のあり方が非常に参考になりました。
- ・ BIM を取り入れれば建物が納まるという風潮を感じる場合があります。講演の中でもワークフローやプロセスという言葉が出てきましたが、根拠や結果から最終判断する知識や技術力が無ければまともでないと思います。BIM の取組みに並行して技術力の向上も重要であることをセットでアピールしていただければと思います。

以上